

2025年4月に大学・短大・専修学校等への進学を考えている生徒・保護者の皆様へ

## 「日本学生支援機構 奨学金」制度について

2024年3月 教務課

### 1. 進学後に利用できる「日本学生支援機構 奨学金」2つの種類

- ① 給付奨学金(返済不要、もらえるお金。家計収入が基準額以内であるとき利用できる。)
- ② 貸与奨学金(返済が必要な支援。家計収入と成績に応じて無利子/有利子で利用できる。)

### 2. 高校在学(卒年次・卒業年度)中に「予約申し込み」する場合の注意点

- ① 生徒対象の校内説明会に必ず参加する(申込書類は説明会で配布。4月下旬に予定。)
- ② 大学等進学以前に利用できる制度ではない(進学準備・入学金には充てられない)
- ③ 各学校・年度により申請スケジュールが異なるため学校からの連絡に注意
- ④ 進学先を通して2025年4月に申し込むこともできる(予約申し込みは必須ではない)

### 3. 予約申し込み開始(卒年次の5月下旬頃)までにしておくこと

- ① 日本学生支援機構奨学金を申し込むか生徒・保護者で話し合っておく。  
→進学後に進学先を通して申し込むこともできるため、「高校在学中に予約申込をするか」も考えておいてください。
- ② 自分が申し込みできる奨学金の種類を確認しておく。  
→どの制度を利用できるか(給付 or 無利子貸与 or 有利子貸与)は、「家庭の収入金額が基準額以内であるか」で決まります。家族の人数などにより基準となる金額が異なるため、参考に挙げるシミュレーターなど利用して調べてください。(成績基準もあるが、家計基準が優先する)
- ③ マイナンバーが確認できる書類を準備しておく。  
→本人と生計維持者(父母等)のマイナンバーの提出が必要となります。マイナンバーカードあるいは、マイナンバー通知カードなどが証明書として使用できます。

【参考】進学資金シミュレーター(<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>)

※シミュレーションを行う場合、「2025年度予約採用の申込」を選択して、シミュレーションをしてください。※「評定」とは、5段階の成績評価を指します。奨学金申し込み(予約)の際には、申し込み時までに確定している全科目評定(各年度の前期・後期)の平均値が基準を満たしているか審査されます。



「貸与奨学金は未来の自分からの前借りである」ことを忘れずに。

特に、返済が必要な奨学金については、未来の自分からの借金と同義です。(給付奨学金を受け取れる生徒は一部です) そのため貸与奨学金に関しては、すべての生徒に対して積極的に利用を推奨するものではありません。申込みに際しては、保護者とよく協議し、「生徒自身に返済義務がある」ことを理解した上で申し込んでください。申し込みの際の責任者もあくまで「生徒本人」です。

2025年4月進学予定者向けの予約申し込みスケジュールは2024年4月に連絡予定です。

C ラーニング等でも申し込みスケジュールについて連絡をします。